

平成31年度 芦別市における林業の成長産業化に向けた取組について

取組予定 ～地域の財産たる森林の健全性を保ちながら管理・経営を持続させていくために～

空知森林管理署

【目標】 * 署の視点

- ◎ 木材販売収入で森林の管理や生産経費をまかなうことができること
- ◎ 木材販売収入で再造林に必要な投資ができること
- ◎ 森林の健全性を保ちながら管理・経営を持続させることができること

【現状】 * 署の視点

- ◎ 積極的な再造林への投資が進んでいない

【問題】 * 署の視点

- ◎ 木材価格から保育・生産費を控除すると利益が出ない

【課題】 * 署の視点

◎ 木材の正しい価値を知ってもらう機会の提供

- ・ 現地検討会の開催
- ・ ワークショップの開催など

◎ 木材を高く売るためのノウハウの提供

- ・ 高く売る手法の研修会の開催
- ・ 木材需要動向の情報提供
- ・ 上記を指導できる行政側の人材育成など

◎ 森林の集約化の推進

- ・ 集約化の説明会の開催
- ・ 現地検討会の開催など

◎ 山元への利益還元についての意識啓発

- ・ 成功事例の勉強会など

◎ 工程管理の手法の普及

◎ 一貫作業システム、コンテナ苗、保育作業の省力化などの手法の普及



【令和元年度の取組予定】

◎ 地域の関係者との意見交換 (4月)

市、森林組合、木材協会と地域課題の解決に向けて連携協力することを確認

◎ 地域の目標設定 (4月～7月)

関係者と地域の民有林整備のありたい姿を取りまとめ

◎ 地域の現状把握 (8月～11月)

- ・ 関係者と森林経営の現状を把握 (聞き取り、現地調査)
- ・ 森林室と連携協力し会議等で情報共有
- ・ 関係者と現状を取りまとめ

◎ 地域の問題点把握 (12月～3月)

関係者と問題点を洗い出し取りまとめ

【今後の取組】

◎ 地域の課題設定と具体的対応

- ・ 関係者と目標に対する現状と問題点を踏まえ課題を設定
- ・ 関係者と課題に基づく具体的な対策の計画実行 (PDCAサイクルの回転)

◎ 5力年1期の計画的な取組

- ・ R1:現状と目標を比較分析し、問題を見える化
- ・ R2:課題を明確化し、解消策を実施
- ・ R3～5:成果を検証し、さらに解消策を実施

5力年1期の総括

芦別市における林業の成長産業化に向けた取組について

～地域の財産たる森林の健全性を保ちながら管理・経営を持続させていくために～ 空知森林管理署

目 標

- ①木材販売収入で森林の管理や生産経費をまかなうことができること
- ②木材販売収入で再造林に必要な投資ができること
- ③森林の健全性を保ちながら管理経営を持続させることができること

取組

取組の内容

取組の成果

準備作業
【4月】

課題解決に向けた
連携協力の確認

芦別市、芦別市森林組合、芦別木材協会と意見交換
地域課題の解決に向け、連携協力して取り組んでいくことを確認
することができた。

目標設定
【4月】

地域の民有林整備の
ありたい姿が見える化

芦別市、芦別市森林組合、芦別木材協会と意見交換
林業による地域振興をめざし、森林・林業・林産業の関係者が、
一体的に取り組む姿勢であることを把握することができた。

現状把握
【10～3月】

目標に対する現状を
調査し見える化

芦別市、芦別市森林組合と現地調査・聞き取り調査
現在、市有林を主体とした計画的な民有林整備を進めていること、
国有林への参入を視野に入れた事業体が育ちつつあることなど、アン
ケート調査等ではわからない実情を把握することができた。

問題把握
【10～3月】

現状と目標を比較・
分析し問題が見える化

**芦別市、芦別市森林組合、芦別木材協会、空知総合振興局
森林室と現状と目標を比較分析**
民有林整備が進みつつある一方、収益アップや低コスト化を図るため
には、国有林との共同施業の検討を進める必要があること、体力ある
事業体の育成が急務であることなど、さまざまな問題点について認識
することができた。



目標に対する達成度

次年度の取組予定

5カ年計画1年目の取組は計画
のとおり「現状と目標を比較分析
し、問題が見える化」までを完了
することができた。

- 森林共同施業団地の設定に向けた、隣接する民有林と国有林の整備計画のすり
合わせ、ICTツールを活用した図面作成や林況把握等の実施を検討。